

大会プログラム

第1日9月2日(月)

◇ 午前の部 各種委員会

◇ 午後の部(14時~17時30分):全体会合1

「国際法における『視点』」

座長

立命館大学名誉教授 薬師寺 公夫

1 国際法への第三世界アプローチ——歴史・内容・意義

中央大学教授 西海 真樹

2 国際法におけるフェミニスト・アプローチ ——「他者」を作り出さない国際法への視点

神奈川大学教授 近江 美保

3 国際法学における言語——視点と盲点

大阪公立大学教授 中井 愛子

4 国際法中国学派探求の深層構造——ロマン主義と現実主義の中国主導の新たな融合

駒澤大学教授 王 志安

理事会(18時~21時)

第2日9月3日(火)

◇ 午前の部(10時~13時):全体会合2

<The Honourable Shigeru Oda Commemorative Lectures>

Theme: The Future of Collective Security

Chair

UEKI Toshiya, Professor, Tohoku University

1 Is the Future for Collective Security Regional? Assessing Current Challenges to Regional and Sub-regional Security Frameworks in Africa

Erika DE WET, Professor, University of Graz

2 Reappraising Collective Security with Expanded Security Concepts

KATAYANAGI Mari, Professor, Hiroshima University

3 Light and Shadow of the UN Collective Security System: Insights from the Perspective of the UN Security Council's Chapter VII Authorization of the Use of Force

SATO Ryosuke, Associate Professor, Seijo University

◇ 午後の部 (14時30分～17時30分) : 分科会

第1分科会「時間をめぐる視点」

座長 早稲田大学教授 酒井 啓亘

1 コロニアリズムの過去と現在——アフリカが経験した「法」と不正義

京都女子大学教授 戸田 真紀子

2 「科学の進歩及びその利用による利益を享受する権利」と人種主義——人骨の帰属を焦点として

成蹊大学教授 佐藤 義明

3 時際法をめぐる時間的視点

立教大学教授 許 淑娟

4 将来世代の利益を保護する法技術の展開

神戸大学助教 阿部 紀恵

第2分科会「人権という視点——人間解放か価値の押しつけか」

座長 京都女子大学教授 前田 直子

1 人権が国際私法に与える影響——国際裁判管轄に焦点を当てて

神戸大学准教授 中村 知里

2 人権侵害行為に関わる国家免除と外交免除——近年の実行の展開

静岡県立大学教授 坂巻 静佳

3 平和を上回る人権？——和平と処罰の関係の再検討

津田塾大学講師 下谷内 奈緒

4 対立か対話か——上国から見た「ビジネスと人権」

秋田大学助教 渡邊 絢子

第3分科会「人の移動をめぐる新たな動き」

座長

名古屋大学教授 小畑 郁

1 アフリカにおける難民の移動と「安全保障化」——難民庇護国における「認識的脅威」の形成と拡散

慶應義塾大学教授 杉木 明子

2 ノン・ルフールマン原則の例外規定と日本の入管法改正——「締約国にとって危険な者」とは誰か

国際基督教大学准教授 橋本 直子

3 合法だが非正統 (legal, but illegitimate) ? ——EU の域外出入国管理をめぐる法と政治

青山学院大学准教授 大道寺 隆也

4 難民の国際的な移動と婚姻の有効性

福岡大学教授 北坂 尚洋

会員総会 (17時30分~18時)

第3日9月4日(水)

◇ 午前の部 (10時~13時): 公募個別報告

第1分科会

座長

専修大学教授 早川 眞一郎

1 多国籍企業による人権侵害と公序条項の適用基準——人権条約の間接適用を中心として

広島市立大学准教授 寺井 里沙

2 ビジネスと人権に関するハードローの展開——ライツホルダーの視座からの課題

弁護士／ヒューマンライツ・ナウ副理事長 伊藤 和子

座長 奈良大学教授 村上 正直

3 個人の派生的国際法主体性

東北医科薬科大学講師 加藤 雄大

第2分科会

座長 青山学院大学教授 阿部 達也

1 国連憲章下における非国家主体に対する自衛権について——いわゆる‘Unwilling or Unable’理論を中心に

日本大学准教授 本吉 祐樹

2 国に対する強制に基づく条約の無効

東京経済大学准教授 若狭 彰室

座長 学習院大学教授 阿部 克則

3 気候変動対策としての炭素国境調整措置の意義と課題——WTO 紛争の可能性と解決策

立命館アジア太平洋大学教授 早川 修

◇ 第3日午後の部（14時30分～17時30分）：公募個別報告・公募パネル報告
公募個別報告第3分科会

座長 早稲田大学教授 河野 真理子

1 国際裁判における付随的管轄権の議論展開

東北大学学術研究員 山下 毅

2 国際司法裁判所における貨幣用金原則の再検討

名古屋大学教授 山形 英郎

座長 海上保安大学校教授 下山 憲二

3 乗船検査に関する寄港国管轄権の発展——公海漁業規制の構造的変化
大阪経済法科大学准教授 來田 真依子

公募パネル報告「SDGs と国際通商法——現実と課題」

企画責任者・座長 中央学院大学教授 中川 淳司

1 持続可能な開発と国際通商法の関係についての歴史的考察——国際貿易機関憲章
が志向した持続可能な開発のプロトタイプ
東京大学客員教授 米谷 三以

2 WTO と SDGs の相互関係
高崎経済大学教授 梅島 修

3 FTA/EPA と SDGs——社会条項を中心に
専修大学教授 濱田 太郎

4 国際投資協定と持続可能性
早稲田大学教授 福永 有夏